

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 1日

事業所名 あなたが宝モノ 音楽&リズム 貝塚王子教室



事業所による自己評価の令和6年度の結果を公表します。  
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めています。  
これからも音楽&リズムあなたが宝モノ貝塚王子教室をどうぞよろしくお願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		法令を遵守しています。子どもの成長やプログラムの変化に合わせて指導訓練室のスペースを変化をつけています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%		法令を遵守した人員配置をしています。法令の配置人数に加え、5年以上経験のある保育士を常勤換算で1名以上配置しています。その日のご利用者様の様子は保護者様や送迎スタッフと療育スタッフで共有し、ご利用者様が安心して過ごせる環境整備を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%		教室が3階でエレベーターないため、1人で階段の上り下りが難しいご利用者さまには支援を行っています。教室内は視覚的支援を用い整備し、使用できる玩具と道具の区別をするなど環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		換気扇を使用しています。毎日の掃除・適宜クレンジングを行い、療育後の消毒、ノックスを使用して対応しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		簡易ベッドを設置した静養スペース・着替えを行うスペースを確保しています。必要に応じてご利用者様を使用することができます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		全スタッフ間で情報の共有、フィードバック、療育報告を行い改善に努めています。今年度引き続きMTを行ってまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		年度末のアンケートや日々保護者様と対話する中で気になることは話し合い改善しています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		教室での課題は日々のMTの中で改善点を共有しています。全教室間で月1度MTを行い、好事例の共有があれば取り入れています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%		コンサルティング会社と提携し、常に療育内容の精査、業務内容の評価と改善策の提案を受けています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	71%	29%		約一か月間の初任者研修を行っている。その後も毎月療育内容の模擬を行っています。次年度は外部研修をより充実させ、よりよい療育ができるよう全スタッフが努めてまいります。
適切な 支援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		児童発達支援ガイドラインに沿い、具体的な支援内容を設定し、保護者様に示しています。相談支援員がいる場合は併せて送付しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%		支援計画の更新の際には必ずアセスメントを行い、児童発達支援計画を作成しています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		日々のMTの中でそれぞれの児童の課題、成長を共有しています。その上で短期目標・長期目標を設定し、ご利用者様の成長に合わせた児童発達支援計画を作成しています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		児童発達支援計画は作成時、作成後に職員間で共有しています。その後計画に沿った振り返り日々行い次回の療育支援の際に適用しています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		子どもの適応行動の状況を図るために、相談支援事業所とも連携し標準的なアセスメントツールを使用しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容を設定しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		年間プログラムを基に、月初にスタッフ間での話し合いの場を設けています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		年間プログラムを基に、月初にスタッフ間での話し合いの場を設け変化をつけています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		準備や片付けなどの生活訓練は個々の状況に合わせて個別に訓練を行い、音楽療育では子どもの状況に応じて小集団のクラス編成を行い社会性とコミュニケーション力を育めるように療育を行っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担、注意や配慮が必要な点について確認しています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		支援終了後～翌日朝の朝礼までで振り返りを行い、適宜チャットワークシステムや共有ノート、日報、コミュニケーションを通じて、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有するよう工夫しています。

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の支援に関して必ず利用者一人一人の個人日誌に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、無理な目標や必要性が低くなった目標、あるいは達成した目標などを評価し、目標の再設定を行っています。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	医療的ケアが必要な子どものご利用に備えて各関係機関と連絡体制を整えています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83%	17%	支援計画の更新時は相談支援員にも送付し、共有しています。訪問が始まればさらにスムーズな情報共有が行えると考えております。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	担当者会議を行い関係機関で連携をとれるよう努めています。
28	(28～30は、センターのみ回答)			
29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
31	(31は、事業所のみ回答)			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	必要に応じて、各関係機関と連絡体制を整えています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができていないですが、今後、必要に応じて外出や障がいがない子どもとの交流の機会を作ってまいります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃から子どもの状況を保護者と共有し、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	相談のあった保護者様には積極的に行っています。今後は外部講師を招いたセミナーなども企画していきたいと考えています。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明をし、その後ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者様には日頃の送迎やお迎え時に様子を伺い、支援計画の更新前のアセスメント時に、ご利用者様やご家族の希望を伺い、児童発達支援計画を作成しています。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	印字された計画用紙を指し示しながら音読し、確認を得ています。その後は教室・保護者様のそれぞれで支援計画を保存しています。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	電話、連絡帳、メール、LINE等でいつでも相談できる環境を構築し、日々の保護者様からの子育ての悩み等の相談に対応しています。定期的なアセスメントや面談を行っています。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	57%	43%	本年度は参観を兼ねた親子参加型の療育発表会を年度末に開催予定です。必要に応じて保護者同士の交流の機会をどのように作っていくか検討しています。
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	随時、電話・連絡帳・メール・LINE等で相談や申し入れについて対応の体制を整備しています。相談窓口を設け、契約時周知しています。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。

者への説明等	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者様向けに発行しています。その他にLINE、Instagram等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		個人情報は鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行うことを徹底し、またスタッフに定期的に注意喚起しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		ご利用者様には必要であれば視覚情報を用い意思疎通できるようにしています。保護者様との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけ、会話の中での約束事も再度LINEでお送りするよう努めています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	29%	71%		HPやInstagramで事業内容を公開しています。今後は地域住民との交流を行えるイベントを計画してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		策定・周知は行っていますがご利用者様を含めた訓練は未実施のため、今後計画してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		策定・周知を行い具体的な訓練を年に数回行っています。
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	38%		入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に服薬や予防接種、てんかん発作等の有無を把握しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	88%	13%		入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	75%	25%		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、スタッフに周知しています。定期的な職員での避難訓練、非常グッズの点検を行っております。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		ご契約時に緊急時の連絡法・避難場所について周知しています。教室前掲示板にも常に掲示し、避難訓練時には通信などで共有をしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		ヒヤリハット事例集を作成し、全スタッフで共有しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。会社全体で虐待防止の研修を行い、職員が意識できるようしています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載する仕組みを構築しています。